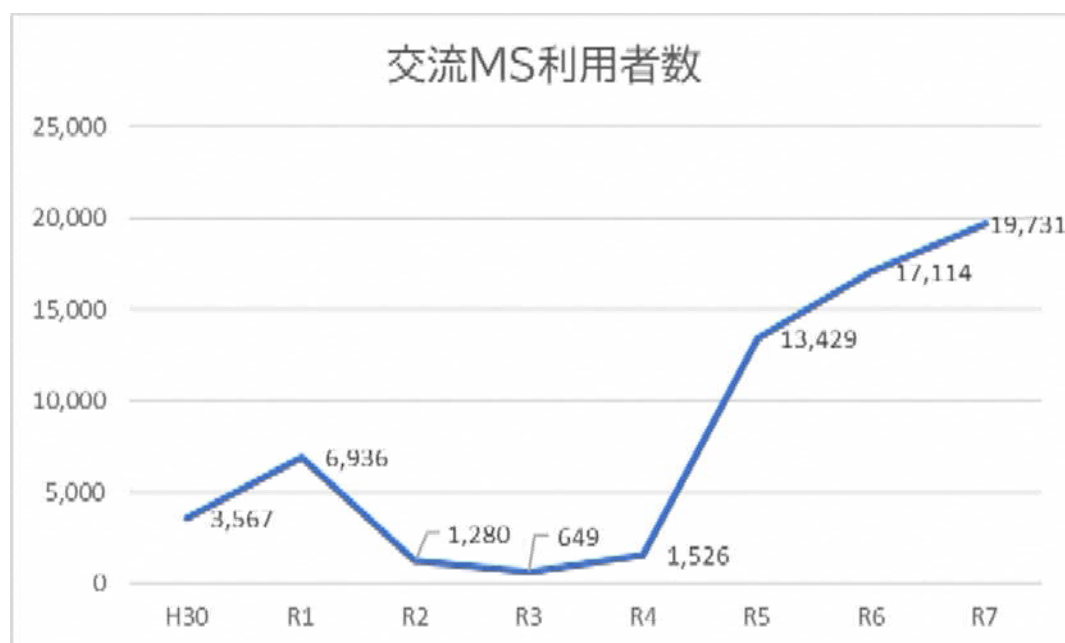


共同事務室の有効活用について

1. 問題意識

1) 全館来場者数と交流ミーティングスペースの利用者数

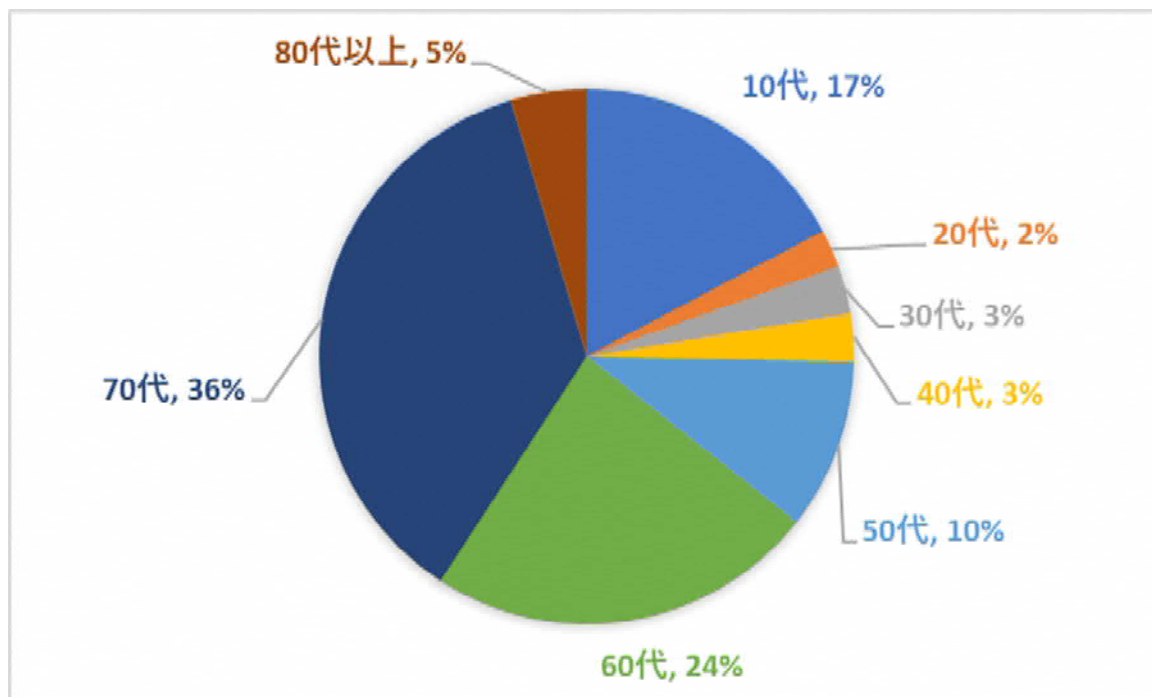
コロナ明け以降来場者数は増加しているものの、その大部分は交流ミーティングスペースを利用する中高生である。



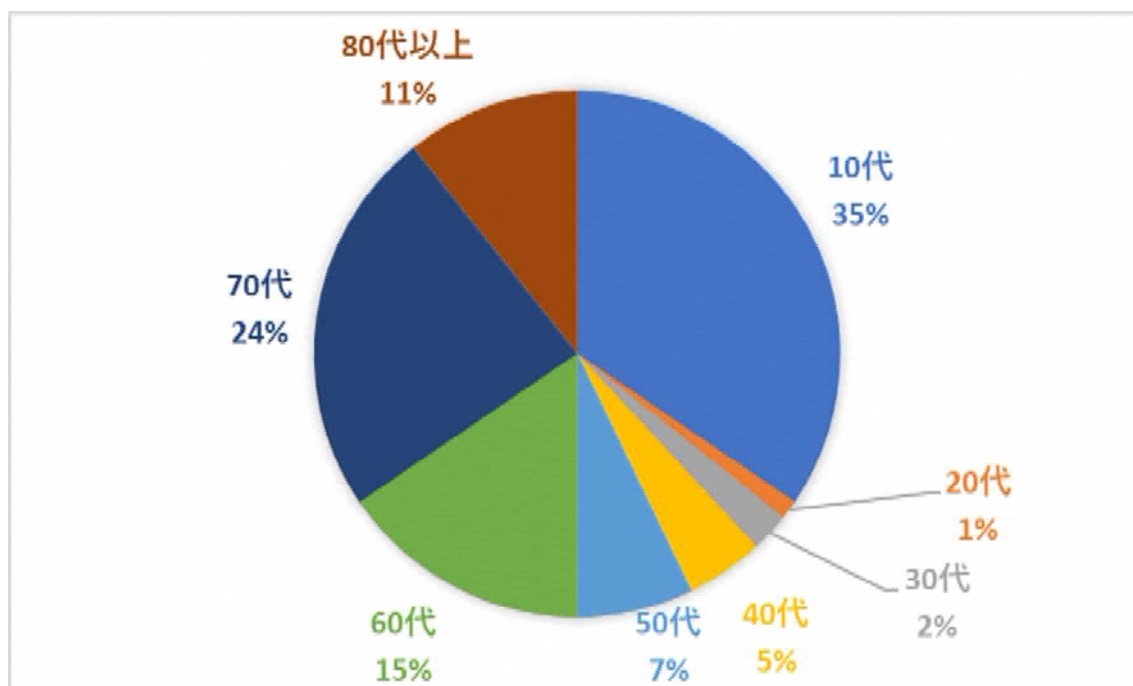
コロナ明け以降、中高生による交流ミーティングスペースの利用者が激増。混雑時には座席を確保できないこともあり、令和6年度から7年度にかけては頭打ち（飽和状態）となった。

2) 利用者年齢層（利用者アンケートより）

【平成 30 年度】



【令和 7 年度】



【年代別構成比】

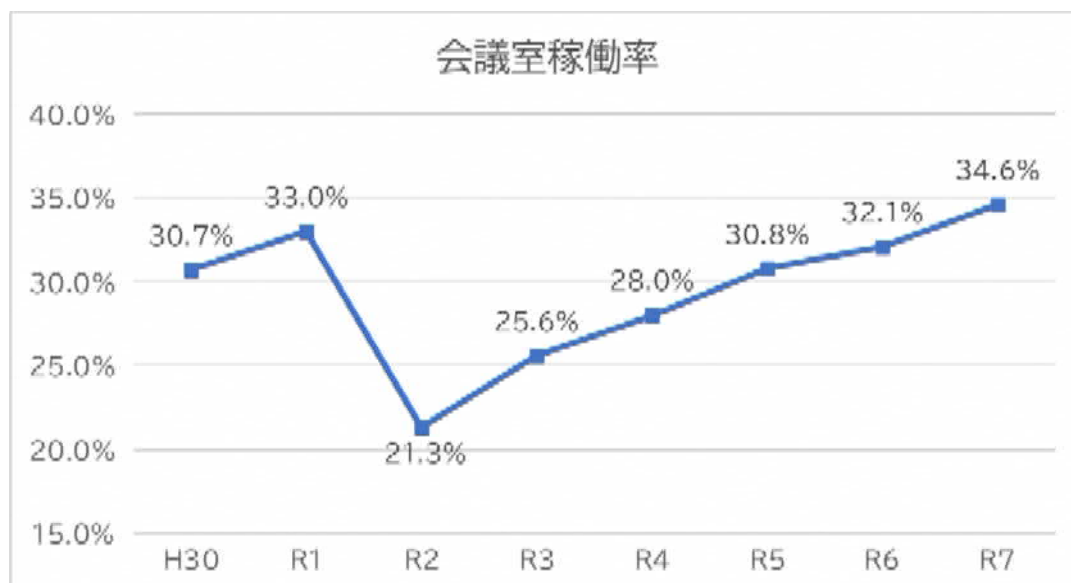
利用者 年齢層	平成 30 年度	令和 7 年度	対比
10 代	17%	35%	+ 18%
20 代	2%	1%	▲ 1%
30 代	3%	2%	▲ 1%
40 代	3%	5%	+ 2%
50 代	10%	7%	▲ 3%
60 代	24%	15%	▲ 9%
70 代	36%	24%	▲12%
80 代以上	5%	11%	+ 6%

10 代を除く利用者は 60 代以上で高止まりしている
80 代の利用者が増えており、既存の利用者が年齢を
重ねたまま活動のボリュームゾーンを支えている。

【年代別構成比】 ※10 代除く

利用者 年齢層	平成 30 年度	令和 7 年度	対比
10 代	-	-	-
20 代	3%	2%	▲ 1%
30 代	3%	4%	+ 1%
40 代	3%	7%	+ 4%
50 代	13%	11%	▲ 2%
60 代	28%	24%	▲ 4%
70 代	44%	36%	▲ 8%
80 代以上	6%	16%	+ 10%
70 代以上	50%	52%	+ 2%
60 代以上	78%	76%	▲ 2%

3) 会議室稼働率



【時間帯別稼働率】

利用時間帯	平成 30 年度	令和 7 年度	対比
9 時～13 時	36%	44%	+ 8%
13 時～17 時	41%	45%	+ 4%
17 時～21 時 30 分	17%	17%	±0%

会議室全体の稼働率は上がっているものの、
午前午後帯がその要因となっており、夜間の
時間帯はボリュームが少なく伸びもない。



- ・ 指定管理を開始した 8 年前と比べても、既存団体・利用者の高齢化は顕著
- ・ 高齢化した利用者への支援は重要だが、「新しい公共の担い手」にはなりづらい
- ・ 市民参加と協働を推進する、「まちのエンジン」となるような、新たな担い手の開拓が急務

2. 新たな市民活動の担い手を発掘する場の創出

現在の共同事務室



大人も若者も自由に集まり対話ができる場所として、共同事務室をイベントやワークショップもできるクリエイティブな共創空間に改装。社会課題の解決に興味を持った個人が活動を始められることをサポートする。

ワークショップツール、交流を促すグッズ（ボードゲーム等）を購入し、秩序のある自由空間を演出して、これまでにない層の利用を促していく。



改装後のイメージ



3. 市民活動の共創空間としての運営手法

1) 現状の運営

a) コンセプト

センターを使用する団体同士が出会い、つながるきっかけを作ることを目的とした施設です。
市民活動のための資料作成や、作業、打ち合わせ等を行うことにも使用できます。

b) 利用ルール

- ・利用できるのは、登録団体のみ
- ・利用前にセンター事務室で利用申込書に記入、提出
- ・利用時間は3時間以内

2) 改装後の運営

a) コンセプト

登録団体とこれから市民活動を始めようとする個人が協働し、新しい活動を生み出す施設です。
市民活動のための資料作成や学習、作業、打ち合わせ、イベント等を行うことができます。

b) 利用ルール

- ・登録団体及び「ぼぼらメンバーズ」に登録した個人会員が利用可能
- ・利用前にセンター事務室で利用申込書に記入、提出
- ・利用時間は3時間以内
- ・イベント利用は月間イベントの規定に準ずる。ただし参加費無料のイベントのみ可とする

c) 「ぼぼらメンバーズ」入会規約

- ・春日部市内で市民活動を始めようとする意志のある個人（年齢不問）
- ・入会に際し、申請書、誓約書（団体登録と同じ）を提出し、身分証明書を提示する
- ・会員番号を付した会員カードを発行する
- ・年に2回の利用者アンケートには必ず回答する。必要に応じてヒアリングを行う
- ・1年更新とし、活動報告書を提出する

d) 「ぼぼらメンバーズ」への支援

- ・メールマガジン等でセンターの事業に関する情報を届け、関与を促していく
- ・センター主催事業等へのボランティア参加を促し、運営パートナーへの参加を求める
- ・イベント等で他会員との交流を促し、団体活動としての組織化を支援する
- ・イベントの主催機能として、他会員や登録団体等とのマッチングを促す